



このまちの教育・文化を私たちの手で
1000人の夢寄金
公益財団法人北九州活性化協議会

2023年度 [令和5年度] 1000人の夢寄金事業報告

ANNUAL REPORT 2023 2013/4 ~ 2024/3

Contents (2024年5月発行)

- P1 / 「1000人の夢寄金」について
- P2-3 / 令和5年度「1000人の夢寄金」寄付金募集の状況
- P4-5 / 令和5年度「1000人の夢寄金」助成事業の状況
- P5-7 / 第1回～第11回「1000人の夢寄金」助成先一覧

KPEC 公益財団法人北九州活性化協議会

〒802-0082 北九州市小倉北区古船場町 1-35 北九州市立商工貿易会館 6F

TEL 093-541-3122 / FAX 093-541-0636

E-Mail:yume@kpec.or.jp

詳細はホームページでもご覧いただけます
<http://www.kpec.or.jp/yume>



 kpecyume



1000人の夢寄金

検索

1000人の夢寄金について

～ 市民による市民のための寄金 ～

「1000人の夢寄金」は、
(公財)北九州活性化協議会(KPEC)が平成24年10月に設立した
“市民による市民のため”の民間寄金です。
北九州市の都市格(教育力・文化力)を高めることを目的に、
市民のみなさまからご寄付を賜り
ジャンルを問わず市民の教育・文化活動への支援を行っています。
この事業は令和5年度に12年目を迎えました。
平成24年の事業開始から令和5年度までの12年間で
累計6,150万3千円の寄付をいただき
81団体へ2,049万円の助成を行っています。

寄付金を募集しています!!

「このまちのために何かしたい」
「誰かと夢を共有したい」
「世の中の役に立っていることを実感したい」

そんな思いを集める地域貢献の新しいカタチ。ぜひ、お知り合いの方にご案内ください。

ご寄付の種類

- ① 基本ご寄付(1年に一度)
個人・団体: 1口 3,000円 / 法人: 1口 10,000円
- ② ご遺贈などのご寄付
「遺贈」「香典返しに代えて」など、故人のご意思やご家族の思いをご寄付として承ります

ご寄付の方法

専用の「払込取扱票」による銀行振込

※毎年の継続的なご寄付にご協力いただける方は、預金口座引落も可能です。

お問合せ先

公益財団法人 北九州活性化協議会

TEL:093-541-3122 / FAX:093-541-0636 / E-Mail:yume@kpec.or.jp

詳細はホームページでもご覧いただけます
<https://www.kpec.or.jp/yume>

1000人の夢寄金



《 1000人の夢寄金 令和5年度事業報告 》

01

寄付金募集事業

令和5年度も多数の皆様から温かいご寄付をいただきました。
ご支援いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

令和5年度 寄付金合計：138万円

(寄付募集期間：令和5年4月～令和6年3月)

A + B + C

寄付金募集事業の内訳はつぎのとおりです。

基本寄付

個人・団体一口3,000円、法人一口10,000円を基本として寄付の募集を行いました。
「寄付のお願い」文書を発送するとともに、寄付者の振込手続き効率化と継続的な寄付を目的とした口座引落としによる寄付者の登録を推進しました。
また、ホームページからご寄付の申込ができるようにしました。
この結果、114の個人・団体・法人の皆様からご寄付をいただきました。

A 基本寄付金合計：93万4千円 《 114件 》

プロジェクト寄付

プロジェクト寄付事業としてボランティアグループ“シマウマ組”が主催するチャリティーバザー「クラフト・チクチク de マルシェとワークショップ」は、今年も盛況を博しました。
また、“シマウマ組”が製作する、小倉織のぬいぐるみが引き続き好評で、“シマウマ組”のみなさまから以下のとおり、ぬいぐるみ(シマウマ・カバ)販売によるご寄付をいただきました。

B プロジェクト寄付金合計：24万6千円

「縞縞のシマウマ」「時々ヨコシマなカバ」の販売

「縞縞のシマウマ」「時々ヨコシマなカバ」は、ボランティアグループ“シマウマ組”のみなさんが、小倉織の端切れを使用して、手作りで製作しています。ぬいぐるみの購入代金が寄付になる仕組みで、平成29年4月から本格販売を開始しています。

このぬいぐるみは、“小倉縞縞 本店”様で販売しています。
また、平成30年から、“北九州市のふるさと納税返礼品”に選定されています。

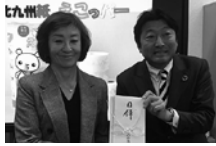


特定寄付（使途指定の寄付）

C 特定寄付金合計：20万円

※ 大分製紙株式会社様からの寄付金

大分製紙株式会社からのご寄付



令和5年11月14日「北九州紙・えこっパー」を製造・販売している大分製紙株式会社様より、「北九州紙・えこっパー」の売上の一部のご寄付をいただきました。
ご寄付いただいた寄付金は、市民の皆様の教育・文化活動への助成として活用させていただきます。

大分製紙株式会社様からは平成28年度から継続してご寄付をいただいております、これまでに総額160万円の寄付をいただいております。

※「北九州紙・えこっパー」は1パックにつき1円が寄付金となります。



寄付金の推移

(単位：千円)

| H24 (2012) | H25 (2013) | H26 (2014) | H27 (2015) | H28 (2016) | H29 (2017) | H30 (2018) | R1 (2019) | R2 (2020) | R3 (2021) | R4 (2022) | R5 (2023) |
|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 1,975 | 1,786 | 2,003 | 583 | 2,111 | 2,041 | 2,272 | 1,973 | 42,678 | 1,369 | 1,332 | 1,380 |
| 合 計 | | | | | | | | | 61,503 | | |

02

助成事業

令和5年度の助成事業は、7月に一般公募を行い、「1000人の夢寄金」審査委員会による審査を経て、第12回助成事業先7団体を決定しました。

- 助成事業の募集：令和5年7月1日～8月31日
- 助成事業の審査：令和5年9月20日（審査委員会）
- 募集の結果：助成件数7件（応募件数11件）助成金額合計276万3千円
- 助成対象期間：令和5年10月1日～令和6年9月30日

助成実績の推移

| | 第1回 (H25) | 第2回 (H25) | 第3回 (H26) | 第4回 (H27) | 第5回 (H28) | 第6回 (H29) | 第7回 (H30) | 第8回 (R1) | 第9回 (R2) | 第10回 (R3) | 第11回 (R4) | 第12回 (R5) | 合 計 |
|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|-------------|-------------|--------------|--------------|--------------|--------|
| 応募件数 | 10 | 14 | 10 | 19 | 16 | 10 | 16 | 9 | 7 | 4 | 12 | 11 | 140 |
| 助成件数 | 4 | 6 | 7 | 7 | 9 | 9 | 9 | 8 | 5 | 4 | 6 | 7 | 81 |
| 助成金額 (千円) | 1,349 | 1,900 | 1,300 | 1,500 | 1,500 | 1,500 | 2,000 | 2,000 | 1,500 | 1,000 | 2,178 | 2,763 | 23,253 |

第12回助成先

【事業名】北九州映画サークル協議会創立70周年記念『映画の原点 北九州活弁LIVE』～弁士・片岡一郎とピアノ伴奏による無声映画三作品

北九州映画サークル協議会 運営委員長 有吉和大

活動写真弁士を迎えた無声映画上映で映画文化を盛り上げる

スマホ等でも映画を楽しめる現在だからこそ「映画の原点に立ち返ろう」と、映画好きによる映画好きのためのサークルが企画。活動弁士とピアニストを迎え、2023年11月23日に戸畑市民会館大ホールにて、阪東妻三郎主演『雄呂血』ほか、無声映画三作を上映しました。『映画の街・北九州』の文化度をさらに上げ、都市格向上を目指したこの事業。来場者アンケートでは「大変よかった」「良かった」が98%!主催者から「予算の少ない市民主体の文化事業にとって、実施したい事業の可能性が広がり、内容をより豊かにでき、大変貴重です」と、当寄金の助成に対する感謝と喜びの声が届いています。



【事業名】新小倉昭和館再開告知プロジェクト

小倉昭和館 代表取締役 樋口智巳

感謝の思いと再建の告知を無料上映会というカタチで表現

2022年8月10日に発生した旦過地区の火災により焼失した小倉昭和館が、2023年12月に元の場所で再建を果たしました。小倉昭和館の再開を多くの方々から知っていただき、映画のまち・北九州の底力を市内外に広く発信したいとの想いから企画された無料上映会『新小倉昭和館再開告知プロジェクト』。2023年12月8日・9日に各日抽選で100名を招待し、実施しました。上映作品は『ニュー・シネマ・パラダイス』。無料の上映会を実施することで、再開へ向けて応援して下さったみなさんをはじめ、普段映画館に足を運ばないの方々を含め、より多くの方に映画を楽しんでいただきました。



【事業名】関門海峡建築展2024

北九州建築デザインコミュニティ tonica 代表 野村琴音

学生自身が企画・運営し、議論の場を設けた建築展

「北九州に建築議論の場を」をスローガンに、学生による設計展を2024年2月23日(金)・24日(土)、アウトレットモールにあるスペースLABO内企画展示室にて開催しました。『北九州新人戦』と『九州卒業設計展』で構成し、北九州市立大学、九州工業大学、西日本工業大学ほか、出展者は合計36名。建築家や出展者同士で議論し、地域のこと等に目を向けるきっかけになったようです。家族連れ他、幅広い方が来場し、建築学生の着眼点を知ってもらうきっかけにもなりました。主催者から「1000人の夢寄金を知らない事業者や支援者に対する広報活動に力を入れても良いのでは」と、ご意見をいただきました。



【事業名】第6回北九州市民映画祭 青山真治監督特集

北九州しねま研究会 代表 吉武あゆみ

ボランティアスタッフが奮闘して実現した青山監督特集

映画好きの北九州市民と北九州出身の青山真治映画監督とのタッグで始まった映画祭。2022年に急逝された青山監督の追悼企画として、2023年12月8日(金)～10日(日)まで、北九州市立美術館分館4階で開催されました。カンヌ国際映画祭ほか、国内外で高く評価されると同時に、北九州と深く関わり続けた青山監督の功績と才能に触れる、北九州ならではの14作品の上映とトークライブを実施。総来場者数は607人。文化に興味を持つ方々の創造力を喚起しました。主催者から当寄金について「文化に関する民間助成団体としてとても有難い存在。北九州の文化振興のために存続していただきたい」との声をいただきました。



【事業名】北九州ドリームサミット 2023

一般社団法人 Kitakyushu Dream Summit 理事長 曾我部駿介

中学生が北九州のまちづくりについて自ら考え、行動し、提案!

次世代のリーダー育成を目的に開催している北九州ドリームサミット(KDS)。主役は、KDS議員と呼ばれる北九州市内の中学2年生です。2023年度は43名の中学生が参加しました。KDSでは机上の議論だけに留まらず、学んだり、議論したり、行動して検証し、その結果を発信します。2023年度では、『わっしょい百万夏まつり』に出店し、そこで得た収益金を義援金として寄付。KDS議員自身が九州北部豪雨の被災地である久留米市市長に義援金の目録を直接手渡すという経験をしました。11月には北九州市議会棟で市長・議長・教育長等と意見交換を行い、自分たちの視点でまちづくりを提案しました。



【事業名】有名漫画家 陸奥A子「夢!マンガ・絵本くらぶ」

株式会社COLT 代表取締役 大野光司

陸奥A子さんを塾長に迎えたマンガと絵本の塾!

2023年小学生がなりたい職業ランキング第1位は、「マンガ家・アニメーター・イラストレーター」。北九州市は夢を実現した多くの人気マンガ家が育ち、輩出てきた街。この街で、子どもたちが大きな夢を持つきっかけとなるマンガと絵本の塾を開催したい!と思い、漫画家の陸奥A子さんを塾長に迎え、マンガ・絵本の知識や実践を学ぶ塾を企画しました。陸奥A子さんは、北九州市出身で、1980年代に少女漫画雑誌『りぼん』で全国のおとめチックマンガブームを起こした伝説の少女漫画家です。各地のコンテストに応募できる人材育成等を目指し、地域が誇るマンガ文化を次世代に伝承し、アピールしていきます。



【事業名】Operation Table 2023年度後半期～2024年度前半期の企画展覧会と関連イベント

Operation Table 代表 真武真喜子

完全自主運営の表現空間で異彩を放つアートを展開



公立美術館等の学芸員を務めた主宰者が、2011年に実家である動物病院を生かし、美術館や画廊とは異なる表現空間Operation Tableをスタートさせ、完全自主運営。何ものにも縛られることなく、さまざまなテーマで地元と他地域のアーティストの作品を同時に紹介する企画展を展開。地域の人びとに親んでもらい、全国のアーティストや美術愛好家の関心も集めています。

学芸員、アートライター、美術家等を講師に迎えたセミナーも開催しています。今回の助成では、3名の美術家による『アキレスと亀と旅ねずみ』をはじめ、2024年度前半までにOperation Tableで行う展覧会等を支援しています。



03

広 報

1000人の夢寄金事業の趣旨及び寄付状況等をホームページ、facebook、メール配信(メールニュース)でお知らせしています。

夢寄金ホームページ URL
<https://www.kpec.or.jp/yume>



夢寄金 facebook URL
<http://www.facebook.com/kpecyume>



※ 1000人夢寄金のメール配信によるお知らせをご希望の方は、お手数ですが件名に「メール配信希望、お名前」を記入のうえ、yume@kpec.or.jpへメールをお願いします。



第1回から第11回までの 助成先一覧

詳細は、1000人の夢寄金ホームページの
「助成先アーカイブ」をご覧ください



| | | | |
|---|-------------------------|-------|---------|
| 第1回 | 平成25年4月1日～平成26年3月31日 | 【4件】 | 134万9千円 |
| ■ ZOOと居たくなる!おしゃべりホットルーム | 親子のしゃべり場『ふわわ』 | 代表 | 吉本一代 |
| ■ 第3回北九州市民映画祭 | 北九州しねま研究会 | 会長 | 吉武あゆみ |
| ■ ひまわりアートプロジェクト | ひまわり実行委員会 | 代表 | 三宅美穂子 |
| ■ 創立60周年記念小津安二郎「浮草物語」上映会 | 北九州映画サークル協議会 | 運営委員長 | 有吉和大 |
| 第2回 | 平成25年10月1日～平成26年3月31日 | 【6件】 | 190万円 |
| ■ ZKU Berlin に於ける滞在制作及び展覧会の開催 | 佐々木 玄 | | |
| ■ インスタレーションプロジェクト「BUILDING DIGNITY」展の開催 | 北九州インスタレーションプロジェクト実行委員会 | | |
| ■ 北九州のディテール展 | 創を考える会・北九州 | 理事長 | 岡野正敏 |
| ■ ひびきのであそぼう～あそびはまなび 子どもと親の出会いの広場 | ひびきの親子あそび研究会 | 代表 | 秋葉祐三子 |
| ■ 北九州国際ビエンナーレ 2013 | 北九州国際ビエンナーレ2013 実行委員会 | | |
| ■ GRADUATION SPECIAL CONCERT2013 | 福田 寛季 | | |
| 第3回 | 平成26年10月1日～平成27年9月30日 | 【7件】 | 130万円 |
| ■ 松本清張・原作「わるいやつら」演劇公演 | 劇団「青春座」 | 代表 | 井生定巳 |
| ■ トマト摘果ロボット競技会開催 | 九工大トマトロボット競技実行委員会 | | |
| ■ ドッグセラピー「動物愛護週週間イベント」 | NPO法人ドッグセラピージャパン | 理事長 | 野田久仁子 |
| ■ ひまわり実行委員会10周年記念事業 | ひまわり実行委員会 | 代表 | 三宅美穂子 |
| ■ 「カタリ場」リーダー養成研修 | PICO・POKO・CLUB | 代表 | 宮村貴幸 |
| ■ 「BUILDING DIGNITY」展の開催 | 北九州インスタレーションプロジェクト委員会 | | |
| ■ 市民の学び舎計画 | ひびきの親子あそび研究会 | 代表 | 秋葉祐三子 |
| 第4回 | 平成26年10月1日～平成28年9月30日 | 【7件】 | 150万円 |
| ■ 児童福祉法に基づく放課後等デイサービス事業 | NPO法人子ども未来 | 理事長 | 神原みゆき |
| ■ 「杉山貞(ただす)ー教育始め」演劇公演 | 劇団「青春座」 | 代表 | 井生定巳 |
| ■ 小倉織ー日本の色と縞ーイタリアミラノ・サローネ出店 | 遊生 染織工房 | 主宰 | 築城則子 |
| ■ フリースペース・寺子屋活動 | ひびきの親子あそび研究会 | 代表 | 秋葉祐三子 |
| ■ 小中高校生対象に命の大切さを教える出前授業 | (公社)誕生学協会 | | 大江田由美 |
| ■ 第5回北九州市民映画祭 | 北九州しねま研究会 | 代表 | 吉武あゆみ |
| ■ GOLDEN BRASS JAPAN FESTIVAL 日本トップ管楽器演奏者が集う奇跡の祭典 | GBJF 実行委員会 | 実行委員長 | 岩永満宏 |
| 第5回 | 平成28年10月1日～平成29年9月30日 | 【9件】 | 150万円 |
| ■ 映像を用いた地域文化の記録・上映鑑賞・ワークショップ及び映画製作「平松町アーカイブ」 | 平松町アーカイブ | 代表 | 荻野衣美子 |
| ■ GALLERY SOAP20周年記念イベント | GALLERY SOAP | 代表 | 宮川敬一 |
| ■ マンガで学ぶ日本の産業発展物語事業 | 西南女学院大学 | | WILL |
| ■ 句画集「杉田久女101句」の発刊 | 北九州ディスカバリーの会 | 代表 | 佐々木慎二 |
| ■ 創立20周年記念 ロバの音楽座公演 | NPO法人かかんむら幼稚園 | 代表理事 | 右田せい子 |
| ■ 日本ー韓国リバーリンク・プロジェクト | リバーリンク・プロジェクト実行委員会 | 代表 | 小川裕司 |
| ■ 子ども食堂事業 ハっちゃん家 | ハっちゃんファミリー | 代表 | 田畑美佐代 |
| ■ ウジェーヌ・イザイ ヴァイオリンコンサート | 日本イザイ協会 | 会長 | 永田郁代 |
| ■ 【チーム茶道2016】外国人留学生による男茶会 | 学研都市留学生支援ネットワーク | 理事長 | 吉江修 |

第6回 平成28年10月1日～平成29年9月30日 【9件】 150万円

| | |
|---|---------------------------|
| ■ MOA美術館北九州児童作品展 | MOA 美術館北九州児童作品展実行委員会 |
| ■ 子どもたちが主体的に生きるチカラを育む「生き方のデザイン授業」 | (一社) 生き方のデザイン研究所 代表理事 岡昌子 |
| ■ 到津の森公園15周年記念事業黒田征太郎絵本作成 | 到津の森からの会 幹事長 小田剛 |
| ■ 映像を用いた地域文化の記録・上映鑑賞・ワークショップ及び映画製作「平松町アーカイブ」 | 平松町アーカイブ 代表 荻野衣美子 |
| ■ 好きっちゃ北九州! | NPO法人好きっちゃ北九州 代表 入門真生 |
| ■ ぼくのまち、わたしのまちを紹介します! | 西南女学院大学 WILL カンボジア支援アナコット |
| ■ 日本・カンボジア文化交流 | いのちの授業 代表 大江田由美 |
| ■ いのちの授業・赤ちゃんゲスト&妊婦体験 | NPO法人子ども未来 |
| ■ 児童福祉法に基づく法に基づく放課後デイサービス事業 北九州一周防大島 島ミュージカルプロジェクト | 島ミュージカルプロジェクト 実行委員会 |

第7回 平成30年10月1日～令和元年9月30日 【9件】 200万円

| | |
|--|------------------------------------|
| ■ KITAQ MUSIC BATTLE | KITAQ MUSIC BATTLE PROJECT 代表 藤田大吾 |
| ■ MAP玄関口プロジェクト | MAP玄関口プロジェクト 代表 池上貴弘 |
| ■ 第20回ヤングサンタ(プレゼント配布)とチャリティー吹奏楽コンサート | (一社) 北九州青年経営者会議 ヤングサンタ実行委員会 |
| ■ 連盟創立55周年位年事業「子ども芸術祭」 | 北九州文化連盟 代表 井生定巳 |
| ■ 旅する絵本カーニバル in 東田 | 絵本カーニバル実行委員会 代表 村岡純 |
| ■ 子どもたちが主体的に生きるチカラを育む「生き方のデザイン授業」 | (一社) 生き方のデザイン研究所 代表理事 遠山昌子 |
| ■ やはたアート・マンス 2018 ～パレットの樹～ 関連企画「EAT IT!」 | 八万湯プロジェクト実行委員会 代表 森秀信 |
| ■ キャリア教育『夢授業』 | 北九州キャリア教育研究会 代表 木原大助 |
| ■ 竹凜共振プロジェクト | 竹凜共振プロジェクト 代表 田中昇三 |

第8回 令和元年10月1日～令和2年9月30日 【8件】 200万円

| | |
|---|-----------------------------|
| ■ あそぼうさい in 北九州 | NPO法人好きっちゃ北九州 代表 入門真生 |
| ■ 子どもたちが主体的に生きるチカラを育む「生き方のデザイン授業」 | (一社) 生き方のデザイン研究所 代表理事 遠山昌子 |
| ■ 枝光まちなか芸術祭 2019 | 枝光まちなか芸術祭 2019 実行委員長 鄭慶一 |
| ■ MAP玄関口プロジェクト 2019 | もじこうアート・プラットフォーム 代表 池上貴弘 |
| ■ Hibikino Green learning project 2019 SDGs from Hibikino | NPO法人あそびとまなび研究所 理事長 秋葉祐三子 |
| ■ 第21回ヤングサンタ(プレゼント配布)とチャリティー吹奏楽コンサート | (一社) 北九州青年経営者会議 ヤングサンタ実行委員会 |
| ■ 旅する絵本カーニバル in 東田 | 絵本カーニバル実行委員会 代表 村岡純 |
| ■ かんかんむらの音楽会 | NPO法人かんかんむら 代表理事 右田せい子 |

第9回 令和2年10月1日～令和3年9月30日 【5件】 150万円

| | |
|-----------------------------|----------------------------------|
| ■ それはモーツァルトだった | 北九州ミュージックシアター・みらい 理事長 森岡謙一 |
| ■ 北九州の今を描こうあらわそう伝えよう 2020 | NPO法人あそびとまなび研究所 理事長 秋葉祐三子 |
| ■ ポジティブ・ディシプリン」ファシリテーター養成講座 | NPO法人GGP(ジェンダー・市民地球企画) 代表理事 岩丸明江 |
| ■ 「生き方のデザイン授業」の「新しい学習教材」の開発 | (一社) 生き方のデザイン研究所 代表理事 遠山昌子 |
| ■ 第22回ヤングサンタとチャリティー吹奏楽コンサート | (一社) 北九州青年経営者会議 ヤングサンタ実行委員会 |

第10回 令和3年10月1日～令和4年9月30日 【4件】 100万円

| | |
|---|----------------------------|
| ■ 総勢1500人による本気の大運動会 | ONEキッズ先生 代表 國武啓助 |
| ■ こどものうえんぶるじえくと 2021▷2022 | NPO法人あそびとまなび研究所 理事長 秋葉祐三子 |
| ■ Kitakyushu 夢プロジェクト～7色のこどもたち～ | (一社) 北九州青年会議所 理事長 竹内 陽平 |
| ■ 子どもたちが主体的に生きるチカラを育む『生き方のデザイン授業』を届けるプロジェクト | (一社) 生き方のデザイン研究所 代表理事 遠山昌子 |

第11回 令和4年10月1日～令和5年9月30日 【6件】 211万円 7,800円

| | |
|---|--|
| ■ あおぞらクラブ (公園遊び) | ONEキッズ先生 代表 國武啓助 |
| ■ 地域が支える多様な活動プログラム!! 高見ドリームキッズ事業 | 高見まちづくり協議会 会長 伊藤一義 |
| ■ 北九州ドリームサミット 2022 | (一社) Kitakyushu Dream Summit 理事長 曾我部駿介 |
| ■ 関門海峡 - 北九州新人戦 / 九州卒業設計展 - | 北九州建築デザインコミュニティ tonica 代表 富山佳紀 |
| ■ 若松海岸通りの景観を継承するために | NPO法人北九州建物遺産トラスト 理事長 畑野清史 |
| ■ 北九州発! 大切な児童を守る新たな学び! 盗撮疑似体験型ブースを活用し 全国に先駆けた盗撮被害対策を全国に広げよう! | 盗撮防犯ボランティア Wc 代表 山内千春 |